

令和2年11月16日

保険者による健診・保健指導等に関する検討会 座長
(財)日本公衆衛生協会
名誉会長 多田羅 浩三 様

厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課
課長 山下 護

御 礼 状

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は厚生労働行政とりわけ医療保険制度の推進に格別の御
協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

多田羅座長におかれましては、2011年4月の第1回検討会
以来、約9年間、今回を含め39回もの数を開催してきた検討
会において座長をお務めいただき、検討会の円滑な進行に御
尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

この度、本検討会で長らく座長の重責を担っていただいた
多田羅座長から座長を御退任するお話をいただきました。

これまで、多田羅座長の下、本検討会では、特定健康診査
等実施計画や特定健診・保健指導制度の見直しはもちろん、

保険者インセンティブ制度の仕組みの検討、特定健診等の効果検証といった幅広い内容を御議論いただき、最近ではオンライン資格確認等システムやマイナポータルを通じた特定健診結果の活用といった新たな時代への対応についても議題とさせていただきます。

御多忙の中、厳しいスケジュールや短い時間の中で多くを御議論いただくことをお願いし、御迷惑をおかけすることもございました。そうした中でも、多田羅座長のお人柄やお力により、検討会の議事は円滑に進み、構成員の皆様から活発で忌憚のない御意見を多くいただくことができ、おかげさまでより良い制度を創っていくことができました。本当にありがとうございました。

今後は、新たな座長の下で、多田羅座長の熱い想いを受け継ぎ、我が国の予防・健康づくりの発展に向けて、しっかりと議論を進めてまいります。

最後になりますが、今回をもって座長を御退任いただくことになりますが、今後とも国民の予防・健康づくりに最前線で携わる第一人者として、御指導・御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する折、御自愛くださいますようお願い申し上げます。

長きにわたり、本当にありがとうございました。

敬具